

第76回 高岡 祥子さん (立正大学、東北大学)

日本心理学会若手の会コラムリレーでは、若手のみなさまに、ご活躍されている領域や普段の生活についてご紹介いただきます。

第76回目は、高岡 祥子さんにご執筆いただきました。

“触れる写真”で認知症予防

私は東北大学スマート・エイジング学際重点研究センターで認知症予防の研究に携わっています。認知症予防には様々な方法がありますが、私は薬を使わない非薬物療法の基礎研究として、写真を活用する方法を検討しています。例えば、亡くなってしまった大切なペットの写真は懐かしい記憶を思い出させますが、そのペットに触れることはもう出来ません。しかし、現在研究している2.5次元写真の場合は、株式会社アド・シーズの開発した高精彩特殊立体印刷によって“被写体に触れる”ことができます。写真の被写体に触れ、存在を感じることが出来る2.5次元写真を活用することで、高齢者の主観的幸福感やリラクセーション効果への影響を調べ、将来的には認知症予防の研究に役立てることを目指しています。

(もう1つの勤務先である立正大学では、ヒトと動物の異種間における表情認知の研究もしています)

高岡 祥子 (Akiko TAKAOKA)

【所属】立正大学 心理学部 対人・社会心理学科

東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター

【連絡先】 [takaoka.akk@gmail.com](mailto:takaoka.akk@gmail.com)

【HP】 <https://researchmap.jp/akikotakaoka>

【その他】 <https://sites.google.com/site/akktakaoka/>